

実行計画の策定について（たたき台）

1. 目的

第1期知床半島エゾシカ保護管理計画を実施していくにあたっての具体的な計画や手法を定めることを目的とする。

2. 内容

（1）記載内容

具体的な評価項目、評価基準の策定に向け、当面行う必要のあるモニタリング調査や管理事業の手法等について詳細に記述する。

（例）

- ・短期（例えば単年度ごと）の具体的なモニタリング計画（指標植物の選定、モニタリング手法等）
- ・短期（例えば単年度ごと）の具体的な管理事業計画（密度操作実験等）
- ・モニタリング手法の開発等に必要具体的な調査研究計画

（2）計画の作成頻度

- ・計画本体が第1期であることから、実験的要素を多数含むとともに、管理手法を始め、未確定事項がまだ多数あることを踏まえ、単年度ごとに実行計画を策定する。（図1参照）

3. 策定手順

（1）策定者

環境省釧路自然環境事務所が、林野庁、北海道、斜里町、羅臼町等と連携・調整しつつ策定する。

（2）策定手順

釧路自然環境事務所が、必要に応じエゾシカワーキンググループ委員をはじめ、専門家等の協力を得て計画原案を作成し、科学委員会メーリングリスト等を通じ科学委員会委員及びエゾシカワーキンググループ委員からの助言を求める。

必要に応じ原案を修正し、地元説明会等を開催する等して地域住民との合意形成を図る。

策定にあたっては、検討にかかる情報を可能な限り公開し、策定した計画についても速やかにウェブサイト等で公開する。

4. 今年度の策定スケジュール

11月中を目途に原案を作成し、エゾシカWGのメーリングリストに送付
年内を目途に助言を頂く。

1月下旬～2月開催予定のエゾシカWGに修正案を提示し、助言を頂く。

助言に基づき再修正案を作成し、必要に応じて地元説明会などを開催する等して、
計画として策定する。

来年度から同計画に基づき各種事業を実施する。